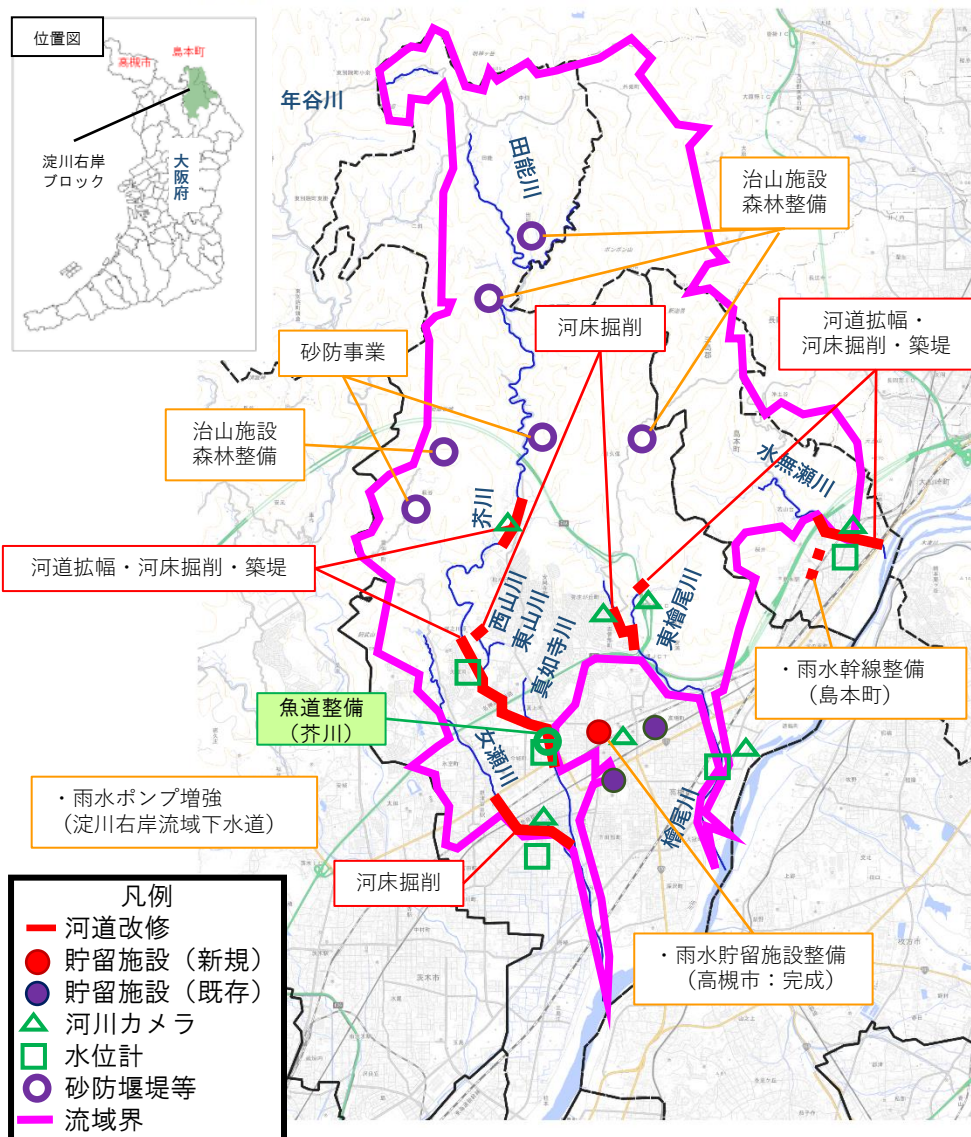


～流域人口40万人の命と暮らしを守る流域治水の推進～

○淀川右岸ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削等による洪水対策を実施します。真如寺川、東山川、田能川、年谷川では当面の治水目標について達成しており、東檜尾川では時間雨量65ミリ程度の降雨、芥川、女瀬川、西山川、檜尾川、水無瀬川では時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、河床掘削、築堤【府】
- ・河道内の堆積土砂除去【府】
- ・砂防事業、治山施設・森林整備・保全【府・市】
- ・雨水貯留浸透施設、雨水幹線整備、下水道施設増強、耐水化【府、市町】
- ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・市・民間】

●被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内における既存住宅に対する補助制度【府・市町】
- ・土地利用誘導（立地適正化計画の見直し等）等【府・市町】

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

①情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
 - ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市町】
 - ・基礎調査の実施と公表と土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の指定【府】
 - ・ホットラインの運用（洪水・土砂）【府・市町】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（広域タイムライン）（洪水）【府・市町・民間】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（市域・町域タイムライン）（洪水・土砂）【市町】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（コミュニティタイムライン）（洪水・土砂）【市町】
 - ・ICTを活用した洪水情報の提供【府・気象台】
 - ・防災施設の機能に関する情報提供の充実【府】
 - ・隣接市町における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等【府・市町】
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施（水害・土砂災害）【府・市町】
 - ・応急的な退避場所の確保【市町】
 - ・市町村舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電機等の整備）【市町】
 - ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善【府・市町】
 - ・重要インフラの機能確保【市町】
 - ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市町】
 - ・水防団間での連携、協力に関する検討【府・市町】
 - ・洪水予測や水位情報の提供の強化、水位計、河川カメラの整備【府】
- 等

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等

- ・水害ハザードマップの改良、周知、活用（洪水・内水・土砂）【府・市町】
 - ・災害リスクの現地表示【市町】
 - ・防災教育の推進【府・市町】
 - ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・市町】
 - ・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進【府・市町】
 - ・地区単位土砂災害ハザードマップの作成促進【市町】
 - ・水防訓練の充実【府・市町】
- 等

●グリーンインフラの取組み

- ・小中学校などにおける河川環境学習
- ・自治体、住民、企業との協力による河川美化活動
- ・上下流の連続性確保に向けた魚道の整備

- 淀川右岸ブロックでは、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市町が一体となって、「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道改修等に着手。
 - 【中期】 河道改修の推進。
 - 【中長期】 時間雨量50ミリ程度の降雨に対して浸水を防ぎ、かつ時間雨量65ミリに対して家屋床上浸水を発生させない対策を完了。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			R4年度～ 短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	東檜尾川の河道拡幅・河道掘削・築堤	大阪府			
	芥川・女瀬川・西山川・檜尾川・水無瀬川の河道拡幅・河道掘削・築堤	大阪府			
	砂防施設の保全	大阪府	定期点検による継続監視及び状況により適宜実施		
	河道内の堆積土砂撤去	大阪府			
	治山施設・森林整備（芥川・水無瀬川）	大阪府	R6年度より森林環境税を活用した、森林区域での流域治水対策を実施		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府・高槻市・島本町			
	土地利用誘導（立地適正化計画の見直し等）等	高槻市・島本町			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善 等	大阪府・高槻市・島本町・気象台	洪水浸水想定区域指定拡大完了(R6年度)		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府・高槻市・島本町	雨水出水浸水想定区域図作成・公表(R7年度)		
グリーンインフラの取り組み	・河川環境学習 ・河川美化活動	大阪府・高槻市・島本町			

河川整備等による効果

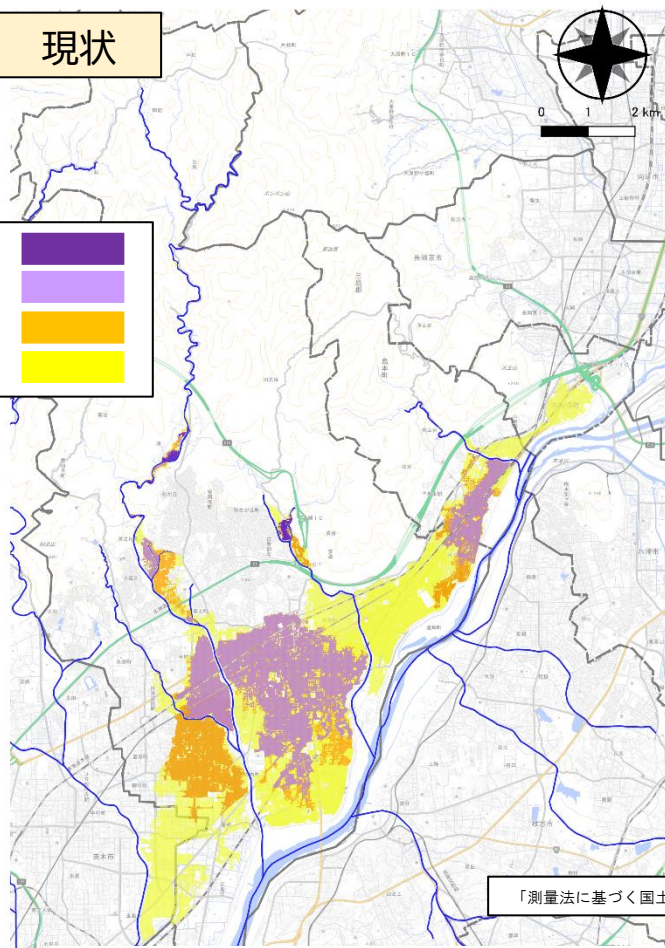
河道拡幅や河床掘削の整備のほか、ため池の活用を推進により、

東檜尾川：時間雨量65ミリ程度（1/30）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

芥川、女瀬川、西山川、檜尾川、水無瀬川：時間雨量80ミリ程度（1/100）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

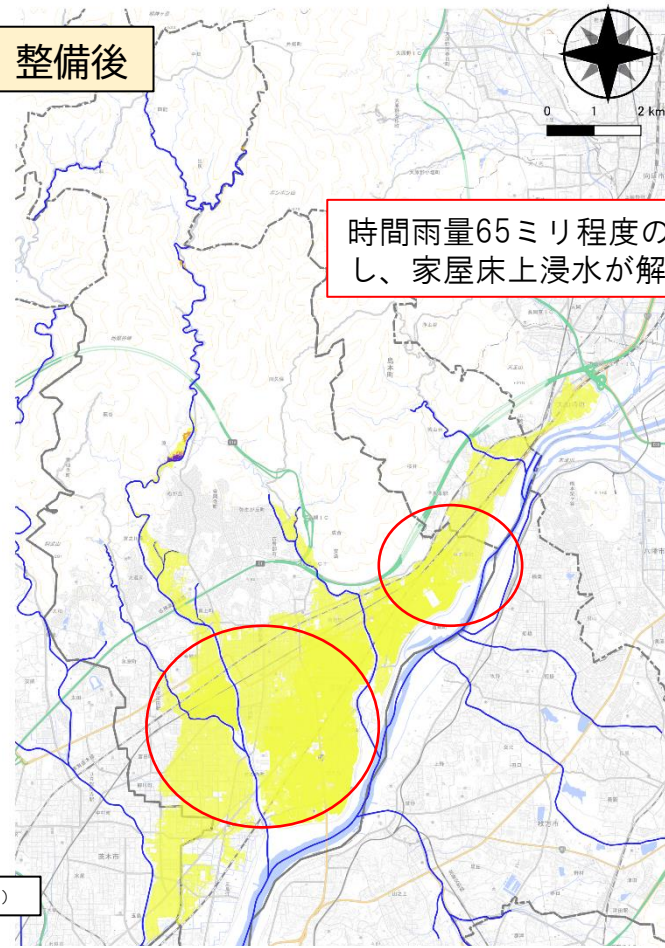
現状

高頻度（1/10）
中頻度（1/30）
低頻度（1/100）
想定最大規模



整備後

時間雨量65ミリ程度の降雨に対し、
家屋床上浸水が解消



「測量法に基づく国土地理院長の承認（使用）」（申請中）

※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（H30）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

